

Members

堀川まちづくりの会 会員の紹介

- 1 黒川ドリーム会
- 2 御用水跡街園愛護会
- 5 円頓寺商店街振興組合
http://www.kinsyachi.com/view_mall.cgi?m=v&d=04027
- 6 NPO 法人 Gondola と堀川水辺を守る会
<http://www.horikawa-gondola.com/mizu-no-miyako/>
- 11 広小路西通一丁目商店街振興組合
http://www.kinsyachi.com/view_mall.cgi?m=v&d=05039
- 12 広小路セントラルエリア活性化協議会
<http://www.hirokouji.com/CA/>
- 19 名古屋港管理組合
TEL 052-661-4111
<http://www.port-authority.minato.nagoya.jp/m-eikan.html>

- 中部大学 松尾直規教授 (堀川まちづくりの会会長)
<http://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/d51f699367174e9283bc750b5688e9db65f6be51.html>
- 名古屋工業大学 秀島栄三教授
<http://suim.web.nitech.ac.jp/>
- 名古屋市立大学 瀬口哲夫名誉教授
- 愛知淑徳大学 (コミュニティ・コラボレーションセンター)
<http://www.aasa.ac.jp/institution/ccc/>



- 3 名古屋市緑政土木局河川計画課 (事務局)
TEL 052-972-2891
<http://www.city.nagoya.jp/shiminkeizai/page/0000004277.html>
- 4 名古屋市住宅都市局 都市整備部まちづくり企画課
TEL 052-972-2938
<http://www.city.nagoya.jp/shiminkeizai/page/000005248.html>
- 7 名古屋堀川ライオンズクラブ
<http://www.horikawa-lions.com/>
- 8 堀川1000人調査隊2010実行委員会
<http://www.horikawa1000nin.jp/>
- 9 中部経済連合会
TEL 052-962-8091
<http://www.chukeiren.or.jp/>
- 10 堀川文化を伝える会
<http://bunka400.exblog.jp/>
- 13 鯉城・堀川と生活を考える会
<http://kojohorikawa.jp/index.html>
- 14 名古屋商工会議所
TEL 052-223-5612
<http://www.nagoya-cci.or.jp/>
- 15 名古屋観光コンベンションビューロー
TEL 052-202-1143
<http://www.nagoya-info.jp/ncvb/>
- 16 堀川文化探索隊
<http://www.arm-p.co.jp/horikawa-bunka/>
- 17 名古屋都市センター
TEL 052-678-2200
<http://www.nui.or.jp/>
- 18 NPO 法人堀川まちネット
<http://horikawamachi.net/>

会員からのひとこと 広小路西通一丁目商店街振興組合

両岸にペゴニアが咲き誇る堀川の水面を滑るように進む Gondola。大正モダンを今に伝える納屋橋。そして重厚なレンガ造りの旧加藤商会ビル。納屋橋界隈の眺めは、さながら世界に冠たる水の都「ヴェニス」のよう。主役は勿論 400 人の市民が作ったハンギングバスケット。一つ一つのバスケットに込められた思いが、かつての梅や桃が咲き誇り、花見の名所であった堀川を見事に蘇らせています。堀川の再生。市民一人ひとりの思いを集めれば、きっとできるはず。いつの時代も堀川はそこに住まう人々の文化を耕し、名古屋を魅力あふれる街に導きます。

堀川フラワーフェスティバル
開催期日 5月8日(金)～23日(土) 開催場所 納屋橋周辺
詳しくは、<http://horikawa.flower-festival.com> をご覧ください。

堀川 キャッチフレーズ

いつも心に川がある

黒柳はる乃さん(岡崎市)の作品

堀川キャッチフレーズは平成26年9月1日から10月31日の期間中にご応募いただいた47作品の中から、堀川まちづくりの会公式HPで人気投票を開催して3作品を選出し、堀川まちづくりの会会員による決選投票で決定させていただきました。応募期間中にはたくさんのご応募とご投票をいただきましてありがとうございました。

編集後記

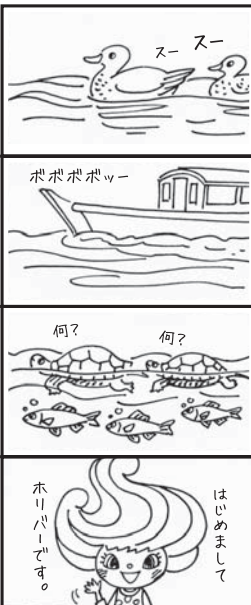
堀川まちづくりの会機関誌「ワカリホ」創刊号をお届けしました。お分かりのようにワカリホは、「ほりかわ」を逆さ読みしたもの。歴史をさかのぼって、かつてのような堀川のにぎわいを取り戻したい。あるいは、常識をひっくり返した自由な発想で、堀川をとらえてみたいなど、たった4文字ですが、私たちのさまざまな願いが込められています。そうした堀川への色々な思いや堀川にまつわるあれこれを、楽しく読者の皆さんにお伝えしたいと思っています。堀川まちづくりの会機関誌「ワカリホ」、よろしくお祈りします。

堀川まちづくりの会事務局



堀川まちづくりの会キャラクター「ホリバーちゃん」

ホリバーの冒険 vol.1



いつも心に川がある

堀川まちづくりの会 機関誌

ワカリホ

創刊号

Wakariho 2015 March

活動日記ブログ

horimachi.blog.fc2.com



フェイスブック

www.facebook.com/horimachi



堀川
まちづくりの会って
なに？



堀川の今、そして未来、歴史など、堀川のイロイロや、アレコレなど、「ともかく堀川を知っておきたい」という方は、一度アクセスしてみてください。

公式サイト

horimachi.jp



堀川まちづくりの会 | 検索

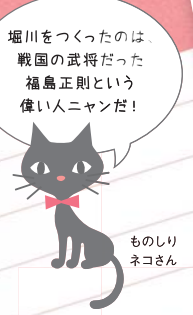
Letter from Horiver
ホリバー
からの
手紙

「福島正則」さま

私は、堀川に住むことになった
女の子「ホリバー」です。
堀川のことまだあまり詳しくないけど
最近出会ったお友達の
「ものしりなネコさん」が
堀川のことをいろいろ教えてくれました。
最近の堀川の様子をお便りします。



ホリバーちゃん



ものしり
ネコさん

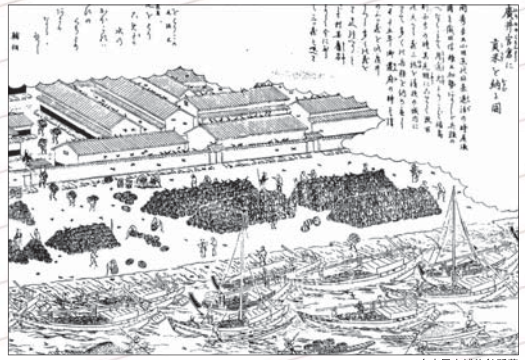
堀川をつくったのは、
戦国の武将だった
福島正則という
偉い人ニャンだ！

はじめまして、福島正則さま！

歴史に詳しいネコさんが、「堀川をつくったのは、戦国の武将だった福島正則という偉い人なんだ」と教えてくれました。名古屋城を築く時に、併せて堀川がつくられたんですね。その後も堀川は、名古屋が城下町として発展していくために必要な商品などを船で運ぶルートとして、大切に守られていったんですね。

名古屋が城下町として栄えることが
できたのは、堀川のおかげなんですね。

人々の暮らしに欠かせない食糧など沢山の商品を積んだ船やかだが堀川を行き交い、商業も盛んになっていきました。沿川には、広大な尾張藩の蔵や舟番所、豪商たちの屋敷などが次々と建てられていき、貯木場も整備され「堀川の舟運が無ければ、名古屋も無い」というほどの勢いで、年を経るごとにその重要性が増していったそうです。



堀川沿いにあった尾張藩の米蔵
名古屋博物館所蔵

江戸時代のひとたちは、

堀川を遊びの場としても楽しんだんだ！

城下町として発展していくことで、名古屋にはたくさんの方が集うようになりました。そして、それらの人々に大変愛されたのが、堀川です。堀川では祭が行われ、お姫様から庶民まで舟遊びを楽しみ、春には名古屋一の桜の名所としてにぎわいました。また、堀川での釣りも人気で、今ではとても信じられないけど、カツオやイワシものぼってきたそうです。



堀川花盛（日置橋付近）

今、堀川では昔のにぎわいを取り戻す
さまざまなイベント開催されています！

福島さんにはとても言いにくいことなのですが、そんな堀川が、大正の終わりになると次第に汚れ始め、昭和30年代の経済発展期にはついに「どぶ川」とまで言われるようになってしまいました。舟運が鉄道などに取って代わられたことで堀川への関心が低くなったこと、人口増加によって生活排水が流れ込む堀川の浄化能力が追い付かなくなったことが大きな原因です。でも、安心して下さい。堀川は今、たくさんの人たちの手によって「昔のようにきれいな堀川、愛される堀川」に変わろうとしています。ちょっと時間がかかるかもしれないけど、福島さんも優しく見守っててくださいね。



ゴンドラ



堀川越しに見る名古屋城



フラワーフェスティバル



ウォーターマジックフェスティバル

Town

堀川の街ガイド①

納屋橋地区

川沿いのオープン・カフェでパリ気分、
国際的な魅力にあふれる大人の街“ナヤバシ”

堀川の街ガイドは、堀川沿川の7地区それぞれの街の魅力や、楽しみ方をご紹介します便利な手引書です。「堀川沿いをちょっと歩いてみようかな」と思ったら、ぜひ持って行ってください。

知ったかぶり、 納屋橋ヒストリー



納屋橋を走る市電 大正2年頃(1913) 名古屋博物館所蔵

「納屋橋」の呼び名は、もちろん、堀川に架けられた橋の名前から来たもので、橋周辺の場所を指す地名としても使われています。「納屋」の由来は、橋の西側に魚屋（なや）があった、あるいは川岸に納屋（河岸蔵）が建ち並んでいたからという、二つの説があります。明治31年(1898)に市電が納屋橋を走るようになり、大正2年(1913)に橋が改築された時には「渡り初め」を見ようと、5万人とも6万人ともいわれる多数の市民が集まったと伝えられています。しかし、昭和46年(1971)の市電廃止に伴って人通りも少なくなりました。近年は、マイタウン・マイリバー整備事業により川沿いの遊歩道が整備され、お洒落な飲食店が次々と開店したり、納屋橋東地区再開発事業による新しい街づくりが始まっています。また、春には「フラワーフェスティバル」、秋には「ウォーターマジックフェスティバル」の堀川イベントが開催されるなど、かつてのにぎわいが戻ってきています。



黒川地区
名古屋城地区
四間道地区
納屋橋地区
日置・松重地区
熱田地区
堀川口地区
名古屋港



納屋橋東地区再開発事業のイメージ

納屋橋から発信！ 堀川をきれいに

堀川沿川では市民団体の皆さんが、それぞれ自分たちの活動エリアで清掃活動を行っています。この納屋橋地区でも堀川まちづくりの会員団体をはじめ、たくさんの市民団体の皆さんが熱心に清掃活動を行っています。



市民団体による清掃活動



第3回納屋橋地区清掃大作戦(中央会場)

ゴンドラに乗って、 水の都ベネチアを楽しむ

堀川が、ベネチアになった！そんな夢のような体験ができるのも、堀川の魅力です。ゴンドラは実際にベネチアで使われていたもので、ゴンドラ保存と水辺風景の美化緑化を目的として発足したNPO法人「ゴンドラと堀川水辺を守る会」が市民ボランティアで運営しています。会では体験乗船や、堀川イベントでのゴンドラ運航、ゴンドラ・ウェディングなどを行っています。ゴンドラの乗船体験などをお望みの方は、「ゴンドラと堀川水辺を守る会」のホームページをご覧ください。



ゴンドラに乗ってカンゾーネ



フラワーフェスティバルでの様子



ゴンドラ
乗りたいーい！

このゴンドラは
ベネチアで
使われていた
ものニャンだ！

Love

わたしと堀川

「わたしと堀川」をテーマにした、
お気に入りの写真を送ってください。

お気に入りの風景や、ぬいどり、キャラ弁など堀川がテーマであればどんな写真でもOKです。

応募方法 下記メールアドレスにお名前(ニックネームでも可)と写真タイトルをご入力の上、写真データを添付してお送りください。 E-mail: photo@horimachi.jp

お送りいただいた写真については、堀川まちづくりの会のホームページや広報誌等に紹介させていただくことがございますのであらかじめご了承ください。

